

中1歴史 邪馬台国と卑弥呼・古墳時代

講師：河原 数馬

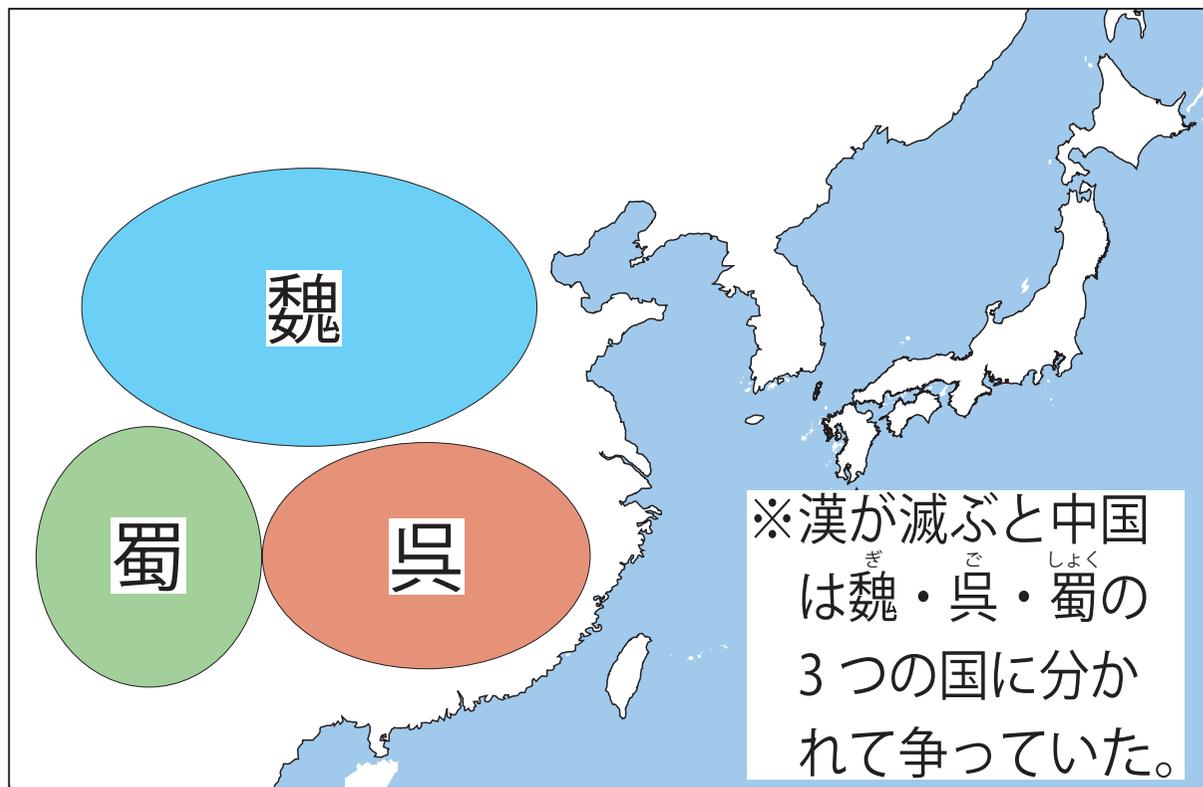
<学習内容>

- ▶中国の歴史書から見た倭(日本)
- ▶大王の時代
- ▶外国との関係

中国の歴史書から見た倭(日本) ②

■^{やまたいこく}邪馬台国の女王

239年に、^{やまたいこく}邪馬台国の女王・^{ひみこ}卑弥呼は、^ぎ魏に使いを送り、^ぎ魏の皇帝から「^{しんぎわおう}親魏倭王」という称号と金印を授かった(魏志倭人伝)。



▲ 3世紀ごろの東アジア



▲ 卑弥呼 (想像図)

資料問題

次の資料は、『後漢書』の内容の一部抜粋である。下線部に関して、漢（後漢）の皇帝・光武帝が奴国の王にさずけた金印には、何と刻まれていたか、漢字 5 文字で答えなさい。

(資料)

57 年に、倭の奴国が後漢に朝貢したので、光武帝は印綬（印とそれを結びとめるひも）をおくった。

…桓帝と霊帝のころ（2 世紀）、倭はおおいに乱れ、長い間代表者が定まらなかった。

漢委奴国王

大王の時代

■ヤマト政権の発展

3世紀後半に、奈良盆地(大和地方)に、王を中心として、豪族たちが支えるヤマト政権が誕生する。ヤマト政権の王はのちに大王と呼ばれるようになる。

■古墳文化

王や豪族を埋葬するために、古墳(前方後円墳)などがつくられた。

古墳には兵士や馬の人形(はにわ)などが棺とともに埋葬された。



◀ はにわ



◀ 大仙(大山)古墳(前方後円墳)

出典：国土画像情報 国土交通省

外国との関係

■朝鮮半島に進出するヤマト政権（4世紀頃）

朝鮮半島では、高句麗・新羅・百済などが争っていた。

ヤマト政権は、百済や伽耶(加羅)諸国と結び、高句麗や新羅と戦った。

■中国との関係（5世紀頃）

ヤマト政権の大王は、倭（日本）の王としての地位と、朝鮮半島南部の軍事的な指揮権を中国皇帝に認めてもらおうとして、中国に使者を送っている。

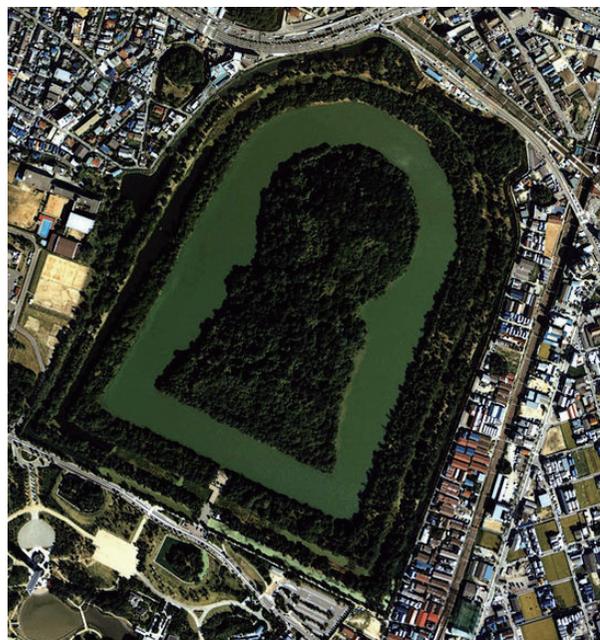


一問一答

次の問いに答えなさい。

- (1) 3世紀後半,奈良盆地を中心にして生まれた強力な勢力のことを何とというか答えなさい。
- (2) 資料のような古墳の名前を漢字で答えなさい。

(資料)



出典：「国土画像情報 国土交通省」

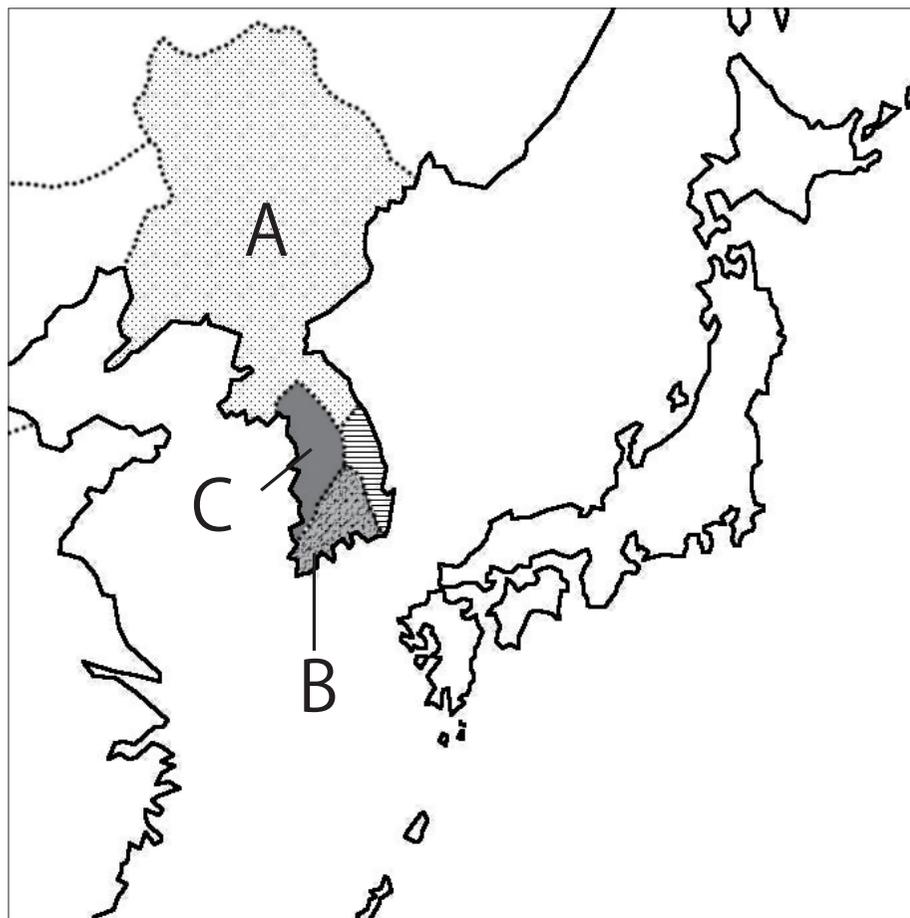
(1) ヤマト政権

(2) 前方後円墳

地図問題

地図中の(A)～(C)の国名の組み合わせとして正しいものを①～④の中から1つ選びなさい。

(地図)



- ① A- 高句麗 B- 加羅 C- 百済
- ② A- 加羅 B- 百済 C- 新羅
- ③ A- 高句麗 B- 加羅 C- 新羅
- ④ A- 百済 B- 新羅 C- 加羅

①